

# 第5回 城崎・港地域 デザイン懇談会を開催しました

「第5回城崎・港地域デザイン懇談会」を、11月15日（月）港地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、第4回目において、参加者の皆さまに具体的な延床面積の削減案について検討していただきましたので、その結果について振り返りを行いました。

次に、前回提案された削減案を実行した場合、どのようなメリット・デメリットが生じるかを各グループごとに議論していただき、さらに他のグループの提案についても意見を出し合いました。他のグループからの意見も参考に、前回検討した提案を実施することは「あり得る」「あり得ない」「どちらともいえない」等、5段階で評価しました。併せて無くすわけにはいかない「ハコ（建物）」についても検討し、最後にグループワークでの評価結果について発表、全体で共有しました。

## 懇談会の様子



## 第6回 城崎・港地域デザイン懇談会の開催について

### 【第6回開催日時】

日時：2021年12月6日（月）午後7時から  
場所：城崎庁舎

### 【傍聴について】

傍聴をご希望される方は、城崎振興局地域振興課へお申し込みください。

- (1) 申込先：電話番号 21-9065 Eメール：kinosaki-chiiki@city.toyooka.lg.jp
- (2) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号
- (3) 申込期限：2021年12月3日（金）

次回がいよいよ  
最終会！！

# 参加者の皆さまからの各提案に対する意見の一部を紹介します

## 麦わら細工伝承館を城崎文芸館へ統合

城崎の文化を一度に見ることができ、注目度も増す

収入が減少するのでは？

古い建物を無くすことはもったいない

## エコハウスの民間譲渡

買い手が見つかるか

環境都市として対外的なPRができなくなる

有効利用が進む！

## 木屋町小路の民間譲渡

民間で今の条件を提供できるか

店や人を育成する目的が薄れるのでは？  
(チャレンジショップ)

上手にPRしてくれるかも

運営方法等、新しい情報が入ってくる

## 城崎健康福祉センターを振興局へ統合

機能が充実し、利用者も職員も便利で使いやすくなる

車いす対応のお風呂の機能がなくなる

集約できる広さが確保できるか

ワンストップサービス福祉センター活用に期待ができる

## 学校の統合

部活動の選択肢が増え、行事にもぎやかになる！

生徒の世界観が広がる人との交流が増え、人間として成長できる！

通学距離が遠くなる

地域コミュニティが下がるのでは

## 市営住宅の集約

不便になる人が出てくるのでは

水道などのインフラも統一できる

管理がしやすくなる

どこに集約するか場所の問題

身寄りのない人たちが共同生活できるアパートのようなものが必要

### ◇ご意見・ご感想◇

- ・未来を予測して、よりよい地域になっていくように、たくさんの人と話し合うことは大事だと思う。
- ・時間があっという間だったが、久しぶりにコミュニティのことが考えられて楽しかった。
- ・前回自分で出した意見について、皆さんの意見を聞き考え直すところがいくつかあった。意見を聞くことは大事だと思った。
- ・地域の特性は残し続けてほしい。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

### 【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129  
城崎振興局 地域振興課 電話 21-9065